■ 特別展 | 一般500円(400円) 高校生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金

## ふくやま書道美術館開館10周年記念 呉昌碩とその周辺

9月1日(日)~10月20日(日)

日本人に最も親しまれた中国の文人・呉昌碩(ごしょうせき)(1844-1927)は、詩・書・画・篆刻のいずれにも優れ、清朝末期の大芸術家と言われています。日本では日下部鳴鶴や河井荃廬・長尾雨山が交友しており、日本篆刻界にも大きな影響を与えました。

本展覧会では呉昌碩の書画・篆刻に加え、師と仰いだ兪樾、任頤、友人の高邕・蒲華・王一亭、子の呉蔵龕・ 呉東邁、弟子の趙起・呉徴・王个簃など呉昌碩周辺の人たちの書画を同時に紹介します。



呉昌碩《牡丹図幅》

## 清水比庵と近代の芸術家たち

10月25日(金)~12月8日(日)

清水比庵(1883~1975)は岡山県高梁市に生まれました。司法官・銀行員・会社員・町長など多方面の社会活動の傍ら、書・絵・歌を楽しんで独自の境地を切り開きました。彼の作品は、青山杉雨、桑田笹舟、川合玉堂、小林和作ら書家や画家が賞賛・賛助し世に紹介

しました。「毎日佳境」の精神に基づいた彼の書風は、穏やかでおおらかな趣をたたえています。



清水比庵《富士山図幅》

本展では清水比庵をはじめ比庵にゆかりがあった川合玉堂や小林和作の書画、また富田渓仙や橋本関雪、北村西望、鍋井 克行など同時代の人たちの書や絵画を展観し個性豊かな作品を紹介するものです。

■ 所蔵品展 | 一般150円(120円) 高校生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金

夏の所蔵品展

ふくやまの書―書のまちを築いた文人たち― 6月20日(木)~8月25日(日) 福山ゆかりの書家・桑田笹舟、谷邊橘南、宮本竹逕、村上三島、栗原蘆水、桑田三舟と昨年寄贈された高尾泉石の作品を紹介します。



桑田笹舟《ぬのひきの》

冬の所蔵品展 I 明清の書と朝鮮陶磁

12月13日(金)~2014年1月19日(日)

中国明・清時代の書画と高麗や李朝の青磁・白磁など朝鮮陶磁を紹介します。

作者不詳《青磁象嵌葡萄唐草文瓢形水注》

冬の所蔵品展Ⅱ

没後150年 貫名菘翁と江戸の書

2014年1月23日(木)~2月23日(日)

江戸時代末期の能書、貫名菘翁(ぬきなすうおう)と同時代の書を紹介します。

貫名菘翁《五言行書幅》

冬の所蔵品展Ⅲ 栗原蘆水展―書と文房古玩― 2014年2月28日(金)~4月6日(日) 栗原蘆水の書を、福山初公開の作品を中心に展観します。また作品に押されている印や愛蔵していた文 房至宝も同時に紹介します。





〒720-0067 広島県福山市西町一丁目1番1号エフピコRiM8階電話:084-925-9222 FAX:084-925-9223

URL: http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/fukuyama-syodo/

■開館時間:午前10時~午後7時

■休館日:月曜日(祝休日の場合は開館、その翌日休館)、年末年始